2020年10月30日

各　位

会 社 名　兼松エレクトロニクス株式会社
代表者名　代表取締役社長執行役員　渡辺　亮
（コード番号：8096　東証第１部）
問合せ先　執行役員経営企画室長　岡崎恭弘
（TEL：03－5250－6821）

連結業績予想ならびに剰余金の配当（中間配当）および期末配当予想に関するお知らせ

2020年７月31日に公表した「2021 年３月期 第２四半期連結業績予想および配当予想に関するお知らせ」において未定としておりました2021年３月期通期連結業績予想および期末配当予想について、以下の通りお知らせいたします。

また、当社は、2020年10月30日開催の取締役会において、下記のとおり、2020年９月30日を基準日とする剰余金の配当を行うことを決議いたしましたので、合わせてお知らせいたします。

記

１．業績予想

(1) 2021年３月期通期連結業績予想（2020年４月１日～2021年３月31日）

	売上高（百万円）	営業利益（百万円）	経常利益（百万円）	親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	１株当たり当期純利益（円 銭）
前回発表予想(A)	―	―	―	―	―
今回発表予想(B)	65,000	10,900	11,000	7,400	258.73
増 減 額(B－A)	―	―	―	―	
増 減 率(%)	―	―	―	―	
(ご参考)前期実績 (2020年３月期通期)	71,961	10,933	10,999	7,387	258.33

(2) 公表の理由

2021年３月期通期連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により計数的な予測が困難なことから未定としておりましたが、当第２四半期連結累計期間の業績動向等を踏まえ、現時点で入手可能な情報に基づき業績予想を算定しましたので公表いたします。

国内ＩＴ業界におきましては、企業のＩＴ投資需要は引き続き旺盛であるものの、当第２四半期連結累計期間における新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う営業活動の制限による商談スピードの低下などを鑑み、売上高は前連結会計年度を下回る見通しです。一方、利益面につきましては、引続き活動自粛による経費抑制を想定し、前連結会計年度を若干上回る見通しです。

なお、上記予想は、現時点で入手可能な情報および一定の前提に基づくものであり、実際の業績は今後の新型コロナウイルス感染症の収束時期など様々な要因により変動する可能性があります。

２．剰余金の配当（中間配当）

(1) 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年７月31日公表)	前期実績 (2020年３月期)
基　　準　　日	2020年９月30日	同左	2019年９月30日
１株当たり配当金	65円	65円	65円
配当金の総額	1,859百万円	―	1,858百万円
効力発生日	2020年12月１日	―	2019年12月２日
配　当　原　資	利益剰余金	―	利益剰余金

(2) 理由

　株主の皆様への利益還元につきましては、中長期的な企業成長の基盤強化に努め、安定的かつ継続的な配当をしていくことを基本方針とし、現行中期経営計画の数値目標の一つとしても「配当性向50%以上」を掲げております。

　中間配当金につきましては、上記方針および当第２四半期連結累計期間の業績等を総合的に勘案し、1株当たり65円とすることといたしました。

３．期末配当予想

(1) 2021年３月期期末配当予想

	１株当たり配当金(円)		
基　　準　　日	第２四半期末	期末	年間
前回予想 （2020年７月31日公表）	65	-	-
配　当　予　想		70	135
当期実績(2021年３月期)	65		
前期実績(2020年３月期)	65	70	135

(2) 理由

　未定としておりました期末配当金につきましては、上記方針および通期連結業績予想等を総合的に勘案し、１株当たり70円（年間配当金135円）を予定しております。

以　上